

〔VCO-4仕様書〕

◆発振周波数範囲

30K型	15Hz～30kHz
100K型	50Hz～100kHz

(周波数指定の特注が可能です。f_{MIN}3Hz、f_{MAX}100kHz)

◆出力電圧 約1.2Vrms (各出力とも) (DCオフセット0.5V以下)

◆出力抵抗 ほぼ 0Ω

◆最小負荷抵抗 600Ω

◆アンチログ部の入出力関係

入力	+2.5V	+5V	+7.5V	+10V
出力	+0.01V	+0.1V	+1V	+10V

(スケールファクター=×2.51/V)

◆リニア入力と周波数の関係 制御電圧+10V時に最大周波数となり、以下は直線比例

◆アンチログ入力と周波数の関係 (30K型の例)

入力	+2.5V	+5V	+7.5V	+10V
出力	30Hz	300Hz	3kHz	30kHz

◆周波数設定の対数直線性誤差 ±2%以下 (オフセット調整後 1,000倍範囲)

◆周波数オフセット温度安定度 ±0.03Hz/°C以下 (@20Hz)

◆周波数設定誤差 (アンチログ +5V 入力時) 0～+10%

(アンチログ入出力関係はほぼ正確です。リニア入力→発振 f を高めに設定しています。)

◆周波数温度安定度 (30K型 アンチログ入力、1,000倍可変時) ±0.08%/°C ±2Hz以下
(5～45°C範囲)

◆周波数制御応答時間 (アンチログ入力) 1msec 以下

◆周波数特性 ±0.3dB以内 (30K型、20Hz～20kHz 高域特性補正後)

◆ひずみ率 0.3%以下 (30K型) 0.5%以下 (100K型)

◆電源投入時立ち上がり時間 5秒以内

◆各入力抵抗値

アンチログ入力	47kΩ
制御電圧入力	約3kΩ
EcG入力	ほぼ無限大

◆V_{REF}出力電圧 +2.5V±2%

◆V_{REF}出力抵抗 1kΩ

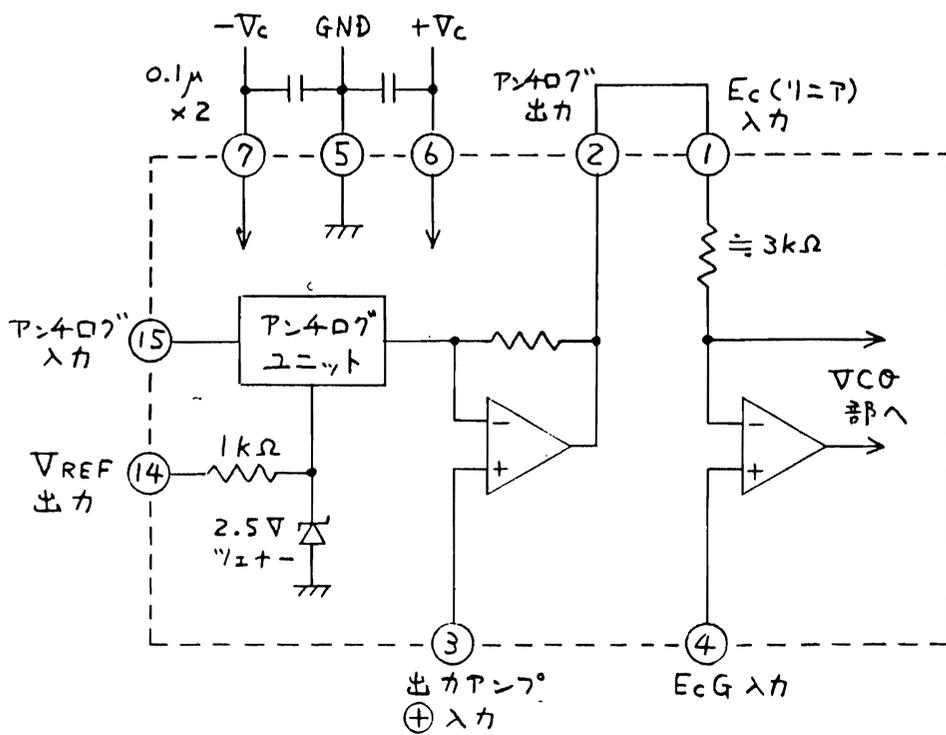
◆使用電源 ±15±1V (約25mA)

◆寸法/重量 50×50×20/65g

〔使用法と注意〕

本機は、VCO-2型から各入出力のバッファを除いて簡略化したモデルで、使用法も2型に準じます。VCO-2型の説明書も併せてご覧下さい。

(発振回路部の構成は2型と同じでアンチログ制御電圧入力部のみが異なります)



[VCO-4 アナログ部 ブロック図]